

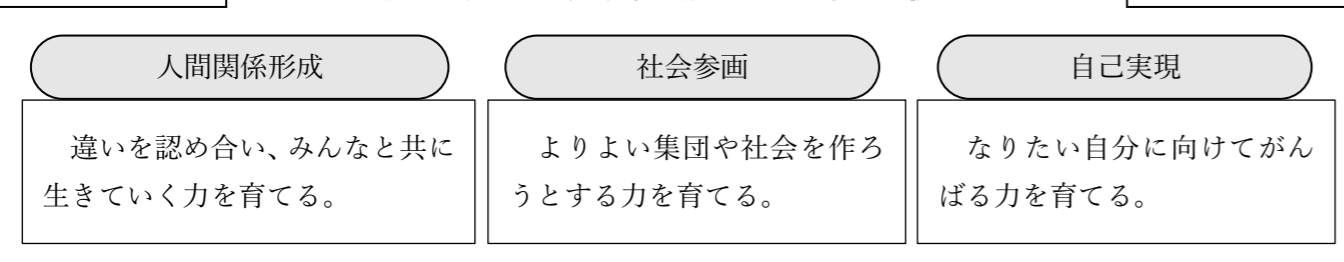
研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を意識して～

議題 「2-3なかよし大作せん！」 (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点



2. 第1学年及び第2学年における評価規準

集団活動や生活についての知識・理解	集団の一員としての思考・判断・表現	集団活動や生活への関心・意欲・態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合っ実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、自己の考えを持ち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、素直で学習課題に前向きに取り組もうとする児童が多い。また、4月から比べ、発表できる児童も増えてきている。しかしながら、まだ自分の思いや考えを進んで発表する児童は多くない。また、授業中はみんなで取り組むことができるが、休み時間では小グループで過ごすことが多い。

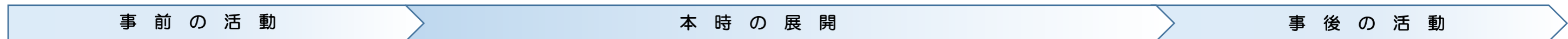
学級会については、本年度から、児童から出た議題についてみんなで話し合う活動に取り組むことになった。2年生全体で学級会オリエンテーションを開いた後、議題集めを行った。経験の少なさからか「みんなのために」ということを意識した議題はあまり出なかった。1回目の学級会では、話し合いの流れや、どのように発表したり意見を言ったりしたらいいのか分からない児童が多く、初めのうちは教師が介入する場面が多かった。2回目からは司会やノート書記、黒板などの役割を児童が行い、より自分たちで話し合いを進めていけるような形で学級会を行っている。そして2回目の話し合い活動では、自分たちでやりたいことを決め、実際に遊ぶところまで行うことができた。回数を重ねるごとに児童の中で、学級会の話し合いの流れが分かりつつある。しかし、まだ友達の意見に耳を傾けたり、折り合いをつけたりすることに課題が見られる児童もいる。

(2) 議題選定の理由

本議題は、第1回の学級会の後、児童から出た議題案の一つとして挙がっていたものである。普段小グループで遊ぶ児童が多いが、「みんなと遊びたい」という思いも持っていることが分かった。第2回学級会では、「2-3なかよし作せん」として場所を教室に絞って話し合っ。第2回学級会の話し合いで、教室の中でできる遊びを決め、実際に遊んだところ、「もっと広い所で遊んでみたい」「教室で出来なかったことがしてみたい」という声が出たことで、本時では教室よりも場所を広げた体育館でできる遊びについて考えることになった。

本学級の話し合い活動では、司会を2人で行い、さらにもう1人前時に司会をした児童をサポート役としており、より児童だけで進めていけるような体制をとっている。また、一人ひとりが自分の意見を持ち、相手に伝えることができるよう、事前に自分の考えを書かせておく。そして、互いの意見を聞き合うことを大切にし、学級内の人間関係を深め、自分たちの力でよりよい学級生活を作っていこうとする自主的・実践的な態度を高めていきたい。

#### 4. 指導と評価の計画



日時	計画委員の活動 (○) 指導上の留意点 (・)
6月4日 (金) 学級活動の時間	○議題を決定する。(学級全員) ・課題内容が思い浮かびにくい児童のために、具体例を例示する。
6月4日 (金) 昼休み	○議題案を選定する。(計画委員) ・提案理由を明らかにして、全員に伝えられるようにする。
6月16日 (水) 朝の会	○自分の思う「みんなで楽しめる遊び」を決め、学級会ノートに記入する。(学級全員) ・「みんなで楽しめる」ことに着目させる。
6月18日 (金) 朝の会	○学級会ノートに自分の考えを記入する。(学級全員) ・話し合いの見通しがもてるようにする。
6月18日 (金) 昼休み	○話し合いの仕方についてシミュレーションをする。(計画委員) ・進行・板書を実際に行い、話し合いの見通しがもてるようにする。

本時のねらい		
話し合いの順序	気をつけること ○留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
● みんなが仲良くなるための遊びを決めることができる。		
1 はじめの言葉	・大きな声ではっきりと言う。(司会)	◎みんなで楽しめるために考えて発表したり、反応したりしながら話し合いに参加している。 (思考・判断・表現) 【観察・発言】
2 計画委員の紹介	・自分のめあてを発表できるように事前に準備しておく。(計画委員)	
3 議題の確認	2-3 なかよし大作せん!	
4 提案理由の確認	・黒板で分かりやすく示しながら説明する。	
5 めあての確認	話し合いのめあて ■ みんなで仲良く遊べる遊びを決めよう。 ・めあてを全員で読む。	
6 決まっていることの確認	・決まっていることを確認する。 ① 日時・・・雨の日の長休み ② 場所・・・体育館	
7 先生の話	○前時までの取り組みのよかったところを伝え、本時の意欲を高める。	
8 話し合い 話し合うこと 「どんなあそびをするのか。」	・「比べ合う」から進められるように、事前に遊びを集計しておき、5つにしばっておく。 ・自分の選んだ遊びの短冊の下に賛成の磁石をはる。 ・提案理由に沿った内容かどうか考えてもらう。 ○話し合いがそれた時は、提案理由に戻り確認する。 ・わかりやすくまとめて発表する。	
9 決まったことの発表	・時間があったら2・3人に発表してもらう。	
10 振り返り	○前回の学級会と比べてよかったことを称賛する。	
11 先生の話	・元気よく言う。	
12 おわりの言葉		

日時	児童の活動 (○) 指導上の留意点 (・)
6月25日 (金) 帰りの会	○決まったことを教室内に掲示する。 ・学級会で決めた要点をまとめて書けるよう助言する。
雨の日 長休み	○「2-3 なかよし大作せん！」を実施する。 ・協力して活動している児童を称賛する。
雨の日 帰りの会	○振り返りをする。 ・協力して活動している児童を称賛する。

◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
◎よりよい学級生活づくりのために、進んで課題を選ぼうとしている。 (関心・意欲・態度) 【提案カード・観察】
◎話し合わなければならないことを理解している。 (知識・理解) 【学級会ノート・観察】

◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
◎進んで取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) 【行動観察】
◎友達と協力して、活動している。 (思考・判断・表現) 【行動観察、振り返りカード】

#### 5. 板書計画

第3回2年3組みんなのかいぎ

ぎだい  
「2-3 なかよし大作せん！」  
ていあんりゆう  
みんなでもっとなかよくあそびたいから  
めあて  
みんなでなかよくあそべるあそびをきめよう!

出し合う  
くらべる  
ドッジボール ・みんなでできる  
ボールはこびおに ・みんなでできる  
おにごっこ ・みんなが分かる  
こおりおに ・たすけ合える  
しつぽとり ・きょうりよくできる  
まとめる  
ふりかえり